

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年8月8日

上場会社名 株式会社第一興商 上場取引所 大
 コード番号 7458 URL <http://www.dkkaraoke.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 三郎 (TEL) 03 (3280) 2151
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 小林 成樹 配当支払開始予定日 —
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	30,685	0.5	4,770	△3.5	5,275	2.2	3,126	2.4
23年3月期第1四半期	30,538	1.3	4,941	27.9	5,162	24.9	3,054	10.2

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 3,332百万円 (5.5%) 23年3月期第1四半期 3,160百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	48	68	—	—
23年3月期第1四半期	46	37	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
24年3月期第1四半期	137,506		89,435		64.3	
23年3月期	137,447		88,034		63.4	

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 88,475百万円 23年3月期 87,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
23年3月期	—	—	25	00	—	—	30	00	55	00
24年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	25	00	—	—	25	00	50	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	62,300	2.4	7,600	△16.7	8,100	△15.4	4,700	△12.8	73	19
通期	126,200	△1.3	15,100	△8.5	16,300	△6.6	9,300	△3.0	144	82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年3月期1Q	64,220,596株	23年3月期	64,220,596株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	2,863株	23年3月期	2,813株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年3月期1Q	64,217,756株	23年3月期1Q	65,867,861株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日、以下「当第1四半期」という）におけるわが国経済は、個人消費や輸出などの一部に持ち直しの動きがみられたものの、3月11日に発生した東日本大震災の影響により電力供給不足による企業活動の停滞や設備投資意欲の減退など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

この様ななか、業務用カラオケ事業におきましては、当社グループが注力して参りましたエルダー市場において、東北福祉大との共同研究成果を基に、市場開拓への取り組みをより本格化しております。またカラオケ・飲食店舗事業におきましては、カラオケのストレス解消効果や身近な娯楽性が再評価されるなか、既存店の回復施策に注力いたしました。音楽ソフト事業におきましては、前第1四半期に計上したアミューズメント機器向けの一時的な売上が剥落したものの、主力アーティストの作品群を中心に底堅い動きとなりました。

なお、前期末から当第1四半期にかけて、東日本大震災により被災したカラオケ事業者様等の復旧・復興支援のため、情報料等の減免措置を実施してまいりました。第2四半期以降は状況の回復が見込まれることから、当該措置を終了し、通常取引条件に復する予定であり、収益の回復が見込まれます。

以上の結果、音楽ソフト事業とその他の事業が減収となったものの、業務用カラオケ事業とカラオケ・飲食店舗事業が増収となり、当第1四半期の売上高は30,685百万円（前年同期比0.5%増）となりました。利益面におきましては、カラオケ・飲食店舗事業が増益となったものの、業務用カラオケ事業と音楽ソフト事業の減益により営業利益は4,770百万円（同3.5%減）となりました。一方、営業外損益と特別損益の改善により経常利益は5,275百万円（同2.2%増）、四半期純利益は3,126百万円（同2.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、昨年10月発売の新商品「L I V E D A M (D A M - X G 5 0 0 0)」が好調なほか、エルダー市場の伸長、低シェア地域の営業強化、被災地域の再開需要などを要因として、「DAM」の稼働台数および機器賃貸件数は順調に増加いたしました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	15,494	15,693	198	1.3%
営業利益	3,807	3,562	△245	△6.4%

主要数値

	単位	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
DAM稼働台数	千台	223.5	225.1	1.5	0.7%
(うちブロードバンド稼働台数)	千台	(105.4)	(110.3)	(4.9)	4.6%
機器賃貸契約件数・6月末	千件	61.9	63.2	1.4	2.2%
DAM出荷台数・6月末	千台	6.4	6.5	0.1	0.5%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業におきましては、「カラオケ」が身近な娯楽として再評価されるなか、既存店の収益力改善に注力いたしました。また、多様な地域や消費者ニーズを取り込むために、「ビッグエコー」のマルチブランド化や飲食店舗における業態変更など積極的に取り組んでまいりました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	9,661	10,287	626	6.5%
営業利益	1,374	1,572	197	14.4%

主要数値

	単位	前第1四半期	前期末	当第1四半期	当期増減	当期増減率
カラオケ店舗数	店	254	291	291	—	—
(うち複合店舗数)	店	(31)	(31)	(31)	—	—
カラオケルーム数	ルーム	6,999	7,902	7,885	△17	△0.2%
飲食店舗数	店	101	115	114	△1	△0.9%
飲食店舗座席数	席	12,808	14,563	14,505	△58	△0.4%

(音楽ソフト)

当事業におきましては、経営効率の改善が定着しつつあるなか、引き続き「北島三郎」(日本クラウン)、「Perfume」(徳間ジャパンコミュニケーションズ)など主力アーティストの作品が収益に貢献いたしました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	2,954	2,481	△473	△16.0%
営業利益	338	176	△162	△47.9%

当期間に貢献した主なアーティスト

	アーティスト名
CD/DVD	SKE48 Perfume スタジオジブリ作品 北島三郎 ほか
音楽配信	ソナーポケット Perfume Tiara SKE48 ほか

(その他)

当事業におきましては、携帯電話向けコンテンツサービスと衛星放送事業の加入者数は減少傾向にありますが、不動産賃貸、パーキング事業なども軟調に推移いたしました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	2,428	2,223	△205	△8.5%
営業利益	256	201	△55	△21.6%

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ59百万円増加し、137,506百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では、現金及び預金が1,888百万円及びその他に含まれる前払費用が1,310百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が3,527百万円減少しております。

固定資産では、カラオケルーム及び飲食店舗設備が364百万円及び無形固定資産のその他に含まれる音源映像ソフトウェアが318百万円それぞれ減少しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ1,342百万円減少し、48,070百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では、その他に含まれる未払費用が1,557百万円増加し、支払手形及び買掛金が1,003百万円、賞与引当金が659百万円及び未払法人税等が472百万円それぞれ減少しております。

固定負債では、長期借入金が359百万円減少しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ1,401百万円増加し、89,435百万円となりました。

これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加3,126百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少1,926百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年6月13日に発表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,955	28,844
受取手形及び売掛金	10,597	7,069
たな卸資産	7,354	8,207
その他	5,936	7,450
貸倒引当金	△397	△256
流動資産合計	50,446	51,315
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器（純額）	6,300	6,352
カラオケルーム及び飲食店舗設備（純額）	14,735	14,370
土地	19,143	19,007
その他（純額）	6,906	6,722
有形固定資産合計	47,085	46,452
無形固定資産		
のれん	641	605
その他	7,421	6,981
無形固定資産合計	8,063	7,586
投資その他の資産		
投資有価証券	12,919	13,216
敷金及び保証金	13,198	13,285
その他	6,018	5,931
貸倒引当金	△283	△282
投資その他の資産合計	31,852	32,151
固定資産合計	87,001	86,190
資産合計	137,447	137,506

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,091	5,087
短期借入金	5,465	5,556
未払法人税等	3,120	2,648
賞与引当金	1,121	462
その他	9,599	10,977
流動負債合計	25,398	24,731
固定負債		
長期借入金	16,831	16,471
退職給付引当金	3,011	3,075
役員退職慰労引当金	2,318	2,045
負ののれん	234	223
その他	1,618	1,522
固定負債合計	24,014	23,339
負債合計	49,413	48,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	14,035	14,035
利益剰余金	61,552	62,752
自己株式	△4	△4
株主資本合計	87,934	89,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	91	285
土地再評価差額金	△777	△777
為替換算調整勘定	△164	△166
その他の包括利益累計額合計	△851	△659
少数株主持分	951	960
純資産合計	88,034	89,435
負債純資産合計	137,447	137,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	30,538	30,685
売上原価	17,101	17,585
売上総利益	13,437	13,100
販売費及び一般管理費	8,495	8,329
営業利益	4,941	4,770
営業外収益		
受取利息	34	177
受取配当金	35	36
貸倒引当金戻入額	—	135
負ののれん償却額	11	10
その他	259	285
営業外収益合計	341	646
営業外費用		
支払利息	51	74
その他	69	66
営業外費用合計	121	141
経常利益	5,162	5,275
特別利益		
固定資産売却益	7	12
投資有価証券売却益	4	—
貸倒引当金戻入額	60	—
役員退職慰労引当金戻入額	44	—
その他	10	—
特別利益合計	127	12
特別損失		
固定資産処分損	54	50
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	440	—
その他	31	2
特別損失合計	526	52
税金等調整前四半期純利益	4,763	5,236
法人税、住民税及び事業税	2,198	2,344
法人税等調整額	△514	△248
法人税等合計	1,683	2,095
少数株主損益調整前四半期純利益	3,079	3,140
少数株主利益	25	13
四半期純利益	3,054	3,126

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,079	3,140
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	138	194
為替換算調整勘定	△57	△1
その他の包括利益合計	80	192
四半期包括利益	3,160	3,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,134	3,318
少数株主に係る四半期包括利益	25	13

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	15,494	9,661	2,954	28,109	2,428	30,538	—	30,538
セグメント利益 (営業利益)	3,807	1,374	338	5,520	256	5,777	△835	4,941

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、衛星放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△835百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	15,693	10,287	2,481	28,462	2,223	30,685	—	30,685
セグメント利益 (営業利益)	3,562	1,572	176	5,311	201	5,512	△741	4,770

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、衛星放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△741百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。